

教員名	新名 謙二 (NIINA Kenji)
所 属	文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学講座
学 位	修士 (教育学) (1991 東京大学)
職 名	助教授
URL/E-mail	niina@cc.ocha.ac.jp

## ◆研究キーワード

スポーツ消費 / 時系列分析

## ◆研究内容

スポーツ消費の時系列分析

スポーツ関連支出の変動パターンについて分析を行っている。1変量時系列モデルを用いて家計調査におけるスポーツ支出の分析を行ったところ、「スポーツ用具」、「スポーツ月謝」、「スポーツ施設利用料」については SARIMA モデルによるあてはめが可能であり、短期においては妥当な予測を行えることが明らかになった。この結果については平成 18 年度の学会において発表する予定である。

今後は GDP 等の経済指標との関連を時系列分析における因果性の分析の枠組みを用いて検討していくことにより、スポーツ消費を適切に説明できる経済モデルを構築することに取り組む予定である。

## ◆教育内容

コア科目においては、必修科目である「スポーツ健康実習」の授業構成を変更し、全学部において 1 年次に必修 2 単位を履修することとした。また講義科目を選択にしたことにより、「スポーツ健康実習」の授業内で講義の時間を年間 4 回以上入れることとした。この改正に伴い、前期の授業においてはフィットネストレーニングの理論と実践を実習を通じて学ぶという形態に変更し、科目責任者として授業内容の立案・実施、授業評価方法の検討などで中心的な役割を果たした。

専門科目においては、「スポーツ人間学」、「スポーツ人間学実験演習」、卒業論文の指導を通じて、スポーツ及び舞踊分野におけるマネジメントの考え方を学生に対して指導した。

卒業論文は 4 名の指導を行った。卒業論文の分野は下記の通りである。

プロスポーツ球団のマネジメント (1)

文化・芸術政策 (1)

舞踊関連団体のマネジメント (2)

## ◆将来の研究計画・研究の展望

---

スポーツ消費を説明する経済モデルの構築  
国家レベルのスポーツマネジメントの比較研究

## ◆受験生等へのメッセージ

---

スポーツマネジメントの分野は現在多くの大学において取り組みが始まっている注目すべき分野です。残念ながら、スポーツマネジメントに関わる女性の数はまだまだ少数です。スポーツに興味を持っている人が集まることを期待します。